

# 令和2年度 岡山南商工会管内業種別景気動向(事業者コメント)

2020年10月～12月

## 1. 建設業

- ・コロナ禍により設備投資の延期や適正な受注価格での工事発注ができなくなる不安がある。
- ・コロナ禍の影響については想定していたほどではないが、今後、影響が出てくる可能性も十分考えられる。

## 2. 製造業

- ・現在受注は増えてきているがまだ、安定している状態ではない。
- ・コロナ禍により全体的な受注が減少している。一部回避の兆しはあるが好転には程遠い。

## 3. 小売業

- ・毎年11月に開催されていた伝統行事がコロナ禍により中止となり売上が無くなった。小学校・保育園・病院等への販売はコロナ禍の前に戻った。
- ・年末年始の販売において需要があるのか、お盆のように帰省を控える方が多いのか不安である。
- ・国の経済対策は小規模小売店まではなかなか難しくこちらの努力も不足している。仕入金額が少ないと取引を止める例も少なくない。
- ・コロナ禍により売上が減少している。
- ・コロナ禍により地域の集まりが減少し、まとまった注文が減った。しかし、客足はあまり減っていない。

## 4. サービス業

- ・春から秋にかけて人の動きが鈍かったが現在は少し人の動きを感じられる。
- ・営業中にコロナの影響に関する情報を聞くと落ち込むが引き続きコツコツと営業を続ける。